

## 雄勝地区

7月31日(金)、雄勝グラウンドで、第40回教育長杯争奪防犯少年野球大会が行われました。  
この大会は、夏休み中の少年の非行防止と地域における連帯意識の高揚のため行われ、雄勝地区の小・中学生混合によるチーム編成で、熱戦が繰り広げられ、大須フルードルフィンが優勝しました。  
当日は、大会初(?)の「さく越え大ホームラン」が飛び出し、場内は歓声に沸き、また、地域の子供も達が一っになりプレーする姿に、夏の太陽に負けないくらい「アツッー」声援を送っていました。



## 熱闘！第40回防犯少年野球大会開催

## 河北地区

8月9日(日)、河北地区成田のメディアアシップ屋外ステーションで、サマーフェ



## 白熱！サマービンゴ大会！

スタ・イン・かほくが行われました。今年も、あいにくの雨模様でしたが、毎年恒例、サマービンゴ大会は、カードの配布に長蛇の列がでぎ、お目当ての商品を狙って大変な盛り上がりを見せていました。  
そのほか、飯野川第一小学校の児童によるYOSAKOIソーラン、婦人団体芸能ショーでは、フラダンスなど各団体の息のあった演技を披露しました。  
また、最後に豪華花火大会が行われ、夜空に次々と花火が打ち上がり、河北の夜を華麗に彩りました。

## 桃生地区

7月29日(水)・31日(金)、桃生公民館を会場に「絵手紙教室」が2日間の日程で開催され、桃生地区内の親子合わせて28人が参加しました。  
和やかな雰囲気の中、講師の方から指導を受けながら、季節の絵画や残暑見舞いの絵手紙などを作成し、一人ひとりが自分のオリジナル作品を発表しました。  
参加者からは「年賀状の時期にも、ぜひ開催してほしい」という声が多く聞かれ、好評のうちに終了しました。



## 自分だけのオリジナル

## 河南地区



## ラーメンだいすき♪

7月28日(火)、河南農村環境改善センターで、スクエア子育てひろば「親子ふれあいコンサート」が開かれ、97組257人の親子が参加しました。  
仙台市を拠点に全国で活動をしている「ラーメンちゃんとおきらちゃん」の2人を迎え、ちまたで話題の「ラーメン体操」をはじめ、さまざまな遊び歌などで楽しく過ごしました。  
10人を超えるボランティアスタッフの陰の支えもあり、参加者は安心して楽しむことができました。赤ちゃんから祖父母まで、誰もが主役になれるとても素敵なコンサートでした。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

### 牡鹿地区

8月9日(日)、おしかホテルランドインベント広場をメイン会場に、牡鹿 鯨まつりが行われました。  
当日は、小雨の中、鯨霊の供養に始まり、特設会場では、鯨肉の炭火焼き無料試食や、地元小学生による鼓笛隊演奏、中学生によるよさこいソーラン海上では、実砲を使用した近代捕鯨ショーなどお楽しみ満載のイベントが行われました。夜には辺見マリさん&狩人の加藤高道さん、演歌歌手の津山洋子さん&高樹一郎さんによる豪華歌謡ショーが行われ、多くの来場者でにぎわいました。  
また会場では、納涼花火大会も行われ、夜空に約3,000発の花火がまじりの

## 牡鹿 鯨まつり開催!!

ファイナルを飾りました。



### 北上地区



## 今年もどっぴりタタ市

8月13日(木)、北上総合支所前で、毎年恒例の「どっぴりタタ市」が行われました。

今年も、おいしい身が育ったホタテやウニなどの特産品がずらりと会場に並び、長蛇の列をひくきました。

お盆の時期とあって、帰省客も多く集まり、北上地区ならではの新鮮な海の幸をたくさん買い求めていました。  
また、会場脇では抽選会が行われ、当選の鐘が鳴るたびに歓声が沸き、盛り上がりました。

### 石巻地区

8月5日(水)、市役所本庁舎中庭で、平成21年度石巻市非核平和推進人材育成事業で、被爆地の広島市を研修する市内中学生8人の出発式が行われました。  
「唯一の被爆国である日本が世界に果たす役割、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実や真の平和の尊さを、研修を通してしっかりと学んでください」と亀山市長からあいさつを受けた8人は、「行ってきます!」の元気な声とともに出発しました。  
現地では、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話を聴くなど、3日間の貴重な体験で、8人の平和に対する思いは、より一層深いものとなりました。

## “恒久平和”を願って



## 海の教室 地引き網体験

7月19日(日)、宮城県水産技術総合センター(渡波)で、「夏休み親子漁業体験」が行われ、県内から100人を超える親子が参加し、地引き網やワロソイの稚魚の放流などを行いました。

地引き網では、雨に濡れながらも参加者が力を合わせて引き、魚の姿が見える子どもも大人もどんな魚が捕れるか、興味津々に目を輝かせていました。網には、アイナメやスズキ、ヒガングツなど約30種が入りました。  
その後、捕れた魚を水槽に移し、子ども達は、魚に触れたり、スnetzをして記録するなど魚の生態を学びました。